

調査資料

知多半島の近未来

—— 将来人口予測をてがかりに ——

三輪憲次*

要 約

日本は既に少子高齢社会に突入しているが、その進展には地域的な不平等が存在する。愛知県は少子高齢化の波の到来が、比較的遅いことがわかる。次に、この愛知県にある知多半島5市5町の少子高齢化の展開を2030年まで予測した。そして、知多半島5市5町は少子高齢化の予測される進展度合いに応じて、3つのグループにタイプ分けできるのではないかと結論をえた。少子高齢化の波の到来が比較的ゆっくりである第1グループ（半田市、常滑市、東海市、大府市、東浦町の4市1町）、少子高齢化の進展が明瞭に現れてくると予測される第3グループ（阿久比町、南知多町、美浜町の3町）と、その中間に位置する第2グループ（知多市、武豊町の1市1町）である。

キーワード：少子高齢化、知多半島5市5町、年少人口比率、生産年齢人口比率、老年人口比率、就業者数

1 少子高齢化の進展度 —— 全国及び愛知県

1.1 全国の人口の動き

日本の総人口は、総務省統計局による人口推計によれば、2007年にピークを迎えた（約1億2777万人）のち、2008年以降、漸次減少し始めている（2008年の総人口は1億2769万人、2009年は1億2751万人）。少子高齢化社会の到来という点で見ると、年少人口は1985年には減少が始まっている。また、生産年齢人口も2000年の到来を待たずに減少を開始した。他方、高齢人口はこの間一貫して増加していることが判る（表1参照）。

1.2 愛知県の人口の動き

では、愛知県のこの間の人口の動きはどうであろうか。これらは、表2で総括されている。愛知県では21世紀に入ってから依然として、総人口の増加が続いている。しかし、高齢人口の増加が続く中で、生産年齢人口は2007年以降減少に転じている。

* 日本福祉大学通信教育部

表1 年齢(3区分)別人口および増加率(全国)

年次	人口(1,000人)				年平均人口増加率(%)			
	総数	0~14歳	15~64歳	65歳以上	総数	0~14歳	15~64歳	65歳以上
1975	111,940	27,221	75,807	8,865	1.54	1.86	1.16	3.87
1980	117,060	27,507	78,835	10,647	0.90	0.21	0.79	3.73
1985	121,049	26,033	82,506	12,468	0.67	-1.10	0.91	3.21
1990	123,611	22,486	85,904	14,895	0.42	-2.89	0.81	3.62
1995	125,570	20,014	87,165	18,261	0.31	-2.30	0.29	4.16
2000	126,926	18,472	86,220	22,005	0.21	-1.59	-0.22	3.80
2005	127,768	17,521	84,092	25,672	0.06	-1.20	-1.16	3.20
2006	127,770	17,435	83,731	26,604	0.00	-0.49	-0.43	3.63

出所：総務省統計局

表2 愛知県総人口(3区分別)

(単位：1000人)

	総数	0~14歳	15~64歳	65歳以上		
					うち65~74歳	うち75歳以上
2005年	7,255	1,069	4,901	1,249	731	518
2006年	7,308	1,079	4,919	1,311	763	547
2007年	7,360	1,083	4,908	1,368	793	575
2008年	7,403	1,088	4,896	1,419	817	602
2009年	7,418	1,087	4,860	1,471	841	630

出所：総務省統計局

1.3 全国および愛知県の将来人口推計

国立社会保障人口問題研究所の将来人口推計(2006年12月)を全国および愛知県についてまとめたのが、表3である。これによれば、日本の総人口は2030年には2005年に比べて、約10%減少すると予測される。また同じく2030年には、年少人口も総人口の10%以下となる。他方、老年人口の割合は30%を超え、総人口に占める75歳以上人口の割合も約20%に急増することが予想されている。

愛知県では、2020年においては依然として人口増加が予測されているが、これも2030年まで

表3 将来人口推計(全国・愛知県)

	全 国			愛知県		
	(単位：1000人)			(単位：1000人)		
	2005年	2020年	2030年	2005年	2020年	2030年
総人口	127,768	122,735	115,224	7,255	7,359	7,152
総人口指数	100.0	96.1	90.2	100.0	101.4	98.6
年少人口割合(%)	13.8	10.8	9.7	14.8	11.5	10.4
生産年齢人口割合(%)	66.1	60.0	58.5	67.9	62.8	61.8
老年人口割合(%)	20.2	29.2	31.8	17.3	25.7	27.7
75歳以上人口割合(%)	9.1	15.3	19.7	7.2	13.2	16.7

出所：国立社会保障・人口問題研究所(資料2)

には減少に転じる。しかし、2030年においても生産年齢人口の割合は61.8%と、全国の58.5%に比べれば大きい。その他の比率を見ても、愛知県は全体として少子高齢化の進展は、全国平均より遅い。

以上、少子高齢化は地域ごとに不均等にあらわれ、愛知県全体では全国平均より遅いことが判った。だが、愛知県の中でも知多半島の、またその中にある5市5町の少子高齢化の現れ方にも不均等性があると予想される。

そこで以下、知多半島の5市5町における少子高齢化の進展について、人口および就業者数という点から検討してみよう。

2 知多半島の少子高齢化の姿——人口予測から

2.1 5市5町における少子高齢化の姿——暫定的に2グループに大別

われわれは、知多半島5市5町は近未来に後述する3つのグループに分かれていくと結論づけた。以下、第2項および第3項でそう考えた理由を述べていく。

まず、2020年における人口増加の状況、2030年における年少人口の割合、を勘案して、5市5町は暫定的に以下の2グループに大別することができる。なお、第1グループと第2グループへの分化については、第3項で述べる。

第1・2グループ 半田市、常滑市、東海市、大府市、知多市、東浦町、武豊町

2020年にはまだ人口増加

2030年においても年少人口10%以上

第3グループ 阿久比町、南知多町、美浜町

2020年には既に人口減少社会に

2030年には年少人口10%を割り込む

なお、第1グループについては表4、第2グループは表5、第3グループは表6にまとめてあるので、参照されたい。また、各グループ別の年齢3区分別人口増減(2005年=100)については、第1グループ(図1~5)、第2グループ(図6~8)、第3グループ(図9~10)を参照されたい。いずれの市・町においても年少人口の著しい減少と高齢人口の著しい増加が予測される。特に、美浜町および南知多町においては、年少人口は2005年に比べほぼ半減することが予測されている。なお、表4~8および図1~10は文末に[付表・図]としてまとめて掲載した。

3 知多半島における就業者数の予測

3.1 5市5町の生産年齢人口の変動

5市5町における生産年齢人口の増加率は、表7に示されている。2030年に2005年と比べて生産年齢人口を10%以上減少させると予測されるのは、知多市、阿久比町、南知多町、美浜町、武豊町の1市4町である。他方、半田市、常滑市、東海市、大府市、東浦町の4市1町は、生産年齢人口の減少は2030年においても10%以下に留まる。

3.2 5市5町における就業者数の予測

最後に、2020年および2030年の5市5町の就業者数をざっと予測してみよう。

表7で、2005年の就業者数/生産年齢人口の比率を計測した。そこで2020年の生産年齢人口予測にこの比率をかけて、各市町村における各年の就業者数を概算してみたのが表8である。

先に、人口の推移のタイプから見ると5市5町は、2つのグループに分かれていくと考えた。すなわち、

第1・2グループ 半田市、常滑市、東海市、大府市、知多市、東浦町、武豊町

第3グループ 阿久比町、南知多町、美浜町

の2つのグループである。

この第3グループの3町では例外なく、2005年の就業者数に比べて1割以上の就業者数の減少が予測される。

次に、生産年齢人口や就業者数の変化という切り口から、第1・2グループの違いが検出される。すなわち、2005年と比べて1割以上の就業者数の減少（と生産年齢人口の減少）が予測される市・町が見られる。知多市、武豊町の1市1町である。他方、第1グループの4市1町では、2005年対比の就業者数（および生産年齢人口）減少率は、いずれも10%以下に留まっている。

4 まとめ —— 3地域グループの検出

以上の検討から、われわれは知多半島の近未来において3つの地域グループが形成されるのではないかと、との暫定的な結論をえた。すなわち、

第1グループ 半田市、常滑市、東海市、大府市、東浦町の4市1町

2020年においては、まだ人口が増加している

2030年においても年少人口は10%以上を保っている

2030年においても2005年と対比した就業者数の減少は10%以内

第3グループ 阿久比町、南知多町、美浜町の3町

2020年において、既に人口減少が現れている

2030年における年少人口比率は10%を割っている

2030年には2005年と対比した就業者数の減少が10%以上

第2グループ 知多市、武豊町の1市1町

このグループは、
の基準では第1グループと同じである。しかし、2030年の就業者数の減少が第1グループと比べて大きいという点で第1グループと区別される。

いわば、地域経済の活力の1つの指標である就業者数という点で、衰えが予測される。

第3グループは、第1グループと比べると極めて対照的であり、知多半島の近未来における少子高齢化の進展が典型的に現れてくるであろう地域である。

このような将来の人口基盤の上に、経済、行政、教育、福祉様々な活動が展開される。これらの活動と人口減少との関連の考察そのものは別稿に譲ることにするが、1つの観点として人口のまとまりの「最適規模」という側面から人口減少を考えるとどのようなことが考えられるであろうか。たとえば、高等学校を設置できる人口規模はほぼ10万人と言われている。また佐々木信夫氏は、「平成の大合併」と関連させて効率的なサービス提供に必要とされる「都市経営の規模」を、消防行政では10万人、ダイオキシンの発生しない清掃工場の維持には10~30万人、介護サービスの供給には20万~30万人、500のベッド数をもつ病院経営には20万人程度の人口規模が必要とされると述べられている。

この観点から2030年に10万人以上を保つことができると予測されているのは半田市と東海市、8万人台が大府市と知多市であり、他の市・町はこの基準以下の人口規模でしかない。改めて2030年の人口推計をみると、特に南知多町と美浜町は各々1万5千人弱、2万4千人弱と合わせても3万9千人弱の人口規模に落ち込んでしまうことが予想される。この規模でどのように住民サービスを効率化して行けるのかという厳しい課題が提起される地域であると言えるだろう。

ところで、南知多町に典型的に現れているような少子・高齢化の形態・現れ方は、現時点でも実感できるが、例えば第1グループに分類した半田市では、少子高齢化はどのように現れてくると予想されるであろうか。実は、尾張地域の最大都市・名古屋市（総人口200万人超）、西三河地域の最大都市・豊田市（総人口40万人超）、東三河地域の最大都市・豊橋市（総人口35万人超）の3都市においても、また本稿で取り上げた半田市（総人口10万超）においても、共通の現象が将来現れてくると予測される。

2030年の4市の総人口は、名古屋市95.4、豊橋市96.8と微減（2005年比、以下同じ基準）、半田市103.4、豊田市105.7と微増であり、総じて都市部においても人口の成長は停滞もしくは減少し始める。そして4都市ともに、2030年の年少人口比率は1割前後、生産年齢人口比率は6割強、高齢人口比率が3割弱となる。75歳以上人口比率は、名古屋市・豊橋市に比べて半田市・豊田市は若干低い（前2市が17%台、後2市が15%台）ことが予測される。

このような人口構成への変化に向けて、各人口階層の増減が生じるわけであるが、特徴的なのは、4市ともに2030年の後期高齢者の増加（2005年基準）が、200以上となることが予測されることである。すなわち、名古屋市208.4、豊橋市223.2、半田市224.2となり、豊田市にいたっ

では 293.6 とほぼ 3 倍となることが顕著な特徴として共通している。2030 年には、団塊の世代を中心に後期高齢者が激増する時期であるが、この時期の高齢者問題は、まさに彼ら都会に生活の場を移した人達が凝集する都会において大量に現れてくるのである。「田舎 過疎 少子高齢化」といった今までのイメージとは全く違った「都会での高齢者問題の大量発生」。これこそ 20 年後の少子高齢化問題のメインテーマとなると思われる。

参考文献

佐々木信夫 (2002) 『市町村合併』筑摩書房

資料

- 1 国立社会保障・人口問題研究所「日本の市区町村別将来人口」(平成 20 年 12 月推計)
- 2 同上「日本の都道府県別将来人口」(平成 19 年 5 月推計)

【付表・図 第1グループ】

表4 第1グループ

	1995年	2000年	2005年	2020年	2030年	
半田市	人口総数	106,452	110,837	115,845	120,898	119,814
	総人口指数	95.4	96.6	100.0	104.4	103.4
	年少人口割合 (%)	17.7	17.1	16.3	12.3	11.2
	生産年齢人口割合 (%)	70.1	68.1	66.7	63.3	61.6
	老年人口割合 (%)	12.2	14.6	17.0	24.4	27.1
	75歳以上人口割合 (%)	4.6	5.6	7.2	12.5	15.6
常滑市	人口総数	50,854	50,183	51,265	51,917	49,307
	総人口指数	99.2	97.9	100.0	101.3	96.2
	年少人口割合 (%)	15.4	14.7	13.9	10.9	10.2
	生産年齢人口割合 (%)	67.7	65.3	63.7	61.3	61.2
	老年人口割合 (%)	16.8	20.0	22.4	27.8	28.6
	75歳以上人口割合 (%)	6.7	8.3	9.9	15.2	17.4
東海市	人口総数	99,738	99,921	104,339	105,562	102,713
	総人口指数	95.6	95.8	100.0	101.2	98.4
	年少人口割合 (%)	16.8	15.9	15.7	13.0	11.9
	生産年齢人口割合 (%)	73.2	71.2	68.6	64.1	64.4
	老年人口割合 (%)	10.0	12.9	15.7	22.9	23.8
	75歳以上人口割合 (%)	3.6	4.4	5.8	11.8	14.1
大府市	人口総数	73,096	75,273	80,262	85,316	85,481
	総人口指数	91.1	93.8	100.0	106.3	106.5
	年少人口割合 (%)	16.0	15.6	15.5	13.0	11.7
	生産年齢人口割合 (%)	74.0	71.8	69.8	64.2	64.2
	老年人口割合 (%)	10.0	12.4	14.7	22.8	24.0
	75歳以上人口割合 (%)	3.9	4.6	5.8	11.6	14.5
東浦町	人口総数	42,409	45,168	48,046	51,440	51,259
	総人口指数	88.3	94.0	100.0	107.1	106.7
	年少人口割合 (%)	17.6	16.9	16.6	12.3	11.1
	生産年齢人口割合 (%)	71.2	69.6	67.0	62.4	61.8
	老年人口割合 (%)	11.1	13.4	16.4	25.3	27.1
	75歳以上人口割合 (%)	2.3	5.0	6.5	12.8	16.5

出所：資料1より筆者作成

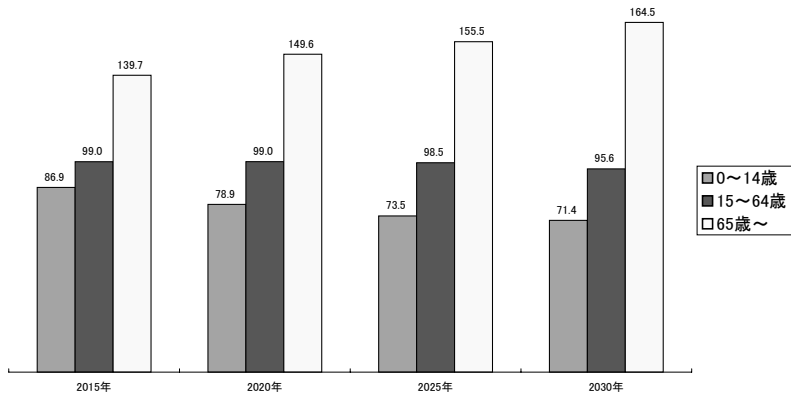


図1 半田市 (グループ1)

出所：資料1より筆者作成

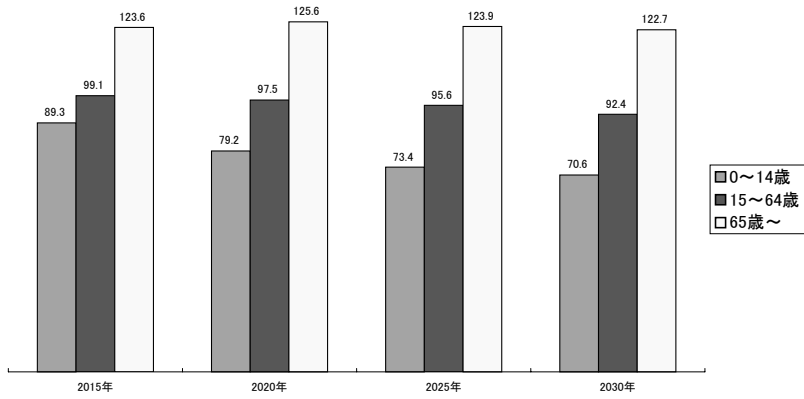


図2 常滑市 (グループ1)

出所：図1に同じ

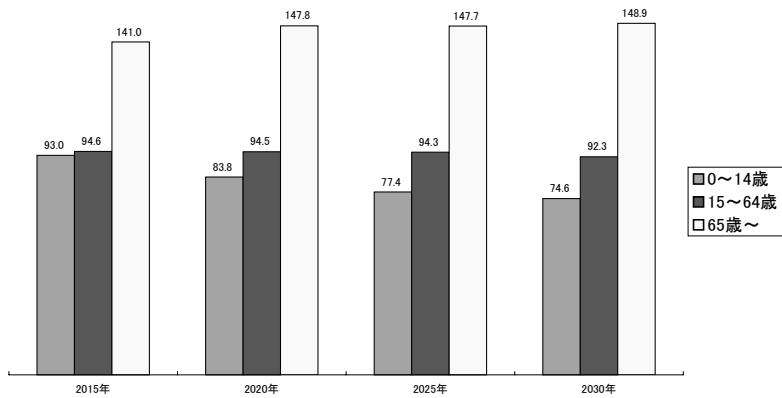


図3 東海市 (グループ1)

出所：図1に同じ

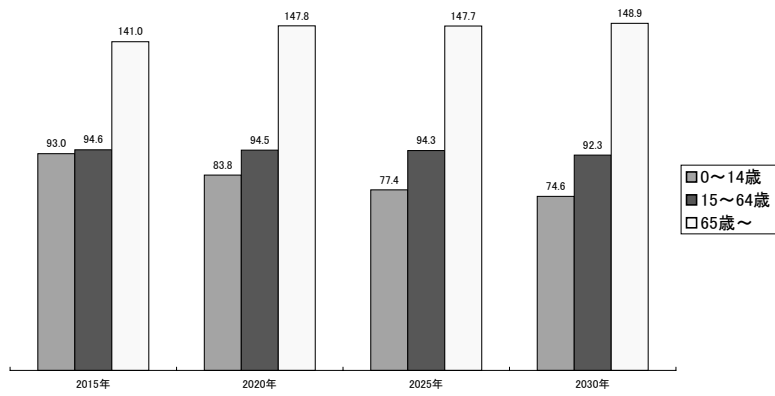


図4 大府市 (グループ1)

出所：図1に同じ

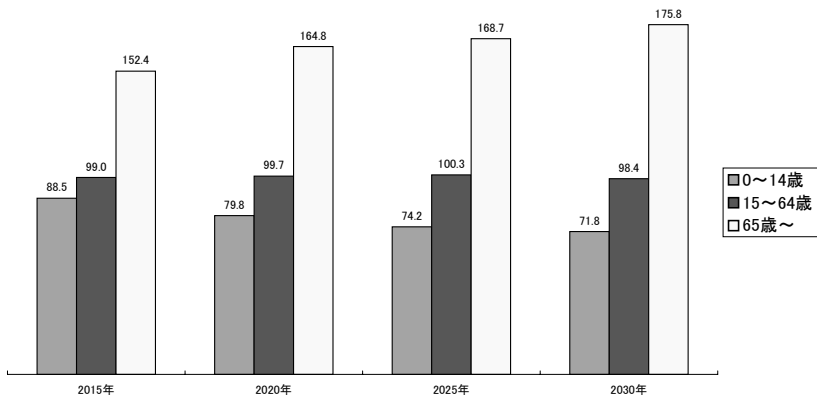


図5 東浦市 (グループ1)

出所：図1に同じ

【付表・図 第2グループ】

表5 第2グループ

		1995年	2000年	2005年	2020年	2030年
知多市	人口総数	78,202	80,536	83,373	85,201	82,557
	総人口指数	93.8	96.6	100.0	102.2	99.0
	年少人口割合 (%)	17.1	15.6	15.2	12.1	11.0
	生産年齢人口割合 (%)	72.2	71.4	68.7	60.8	60.4
	老年人口割合 (%)	10.6	12.9	16.2	27.2	28.5
	75歳以上人口割合 (%)	4.0	4.8	6.2	13.3	17.6
武豊町	人口総数	38,153	39,993	40,981	41,221	39,709
	総人口指数	93.1	97.6	100.0	100.6	96.9
	年少人口割合 (%)	16.3	16.1	15.7	12.6	11.3
	生産年齢人口割合 (%)	73.3	71.2	68.7	61.9	61.6
	老年人口割合 (%)	10.4	12.7	15.6	25.6	27.1
	75歳以上人口割合 (%)	3.8	4.6	6.2	12.6	16.3

出所：資料1より筆者作成

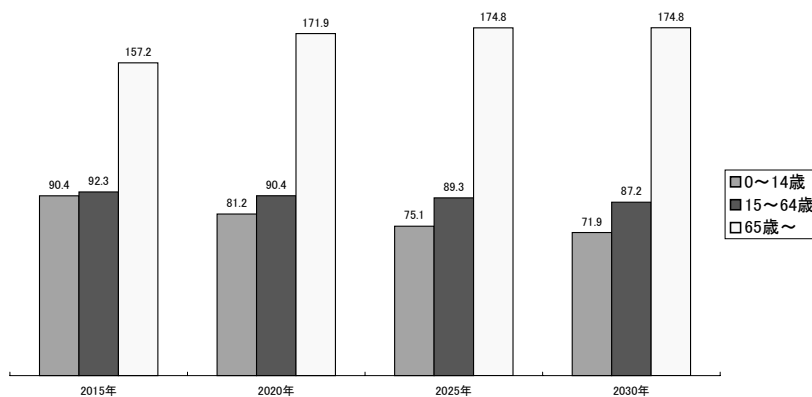


図6 知多市 (グループ2)

出所：図1と同じ

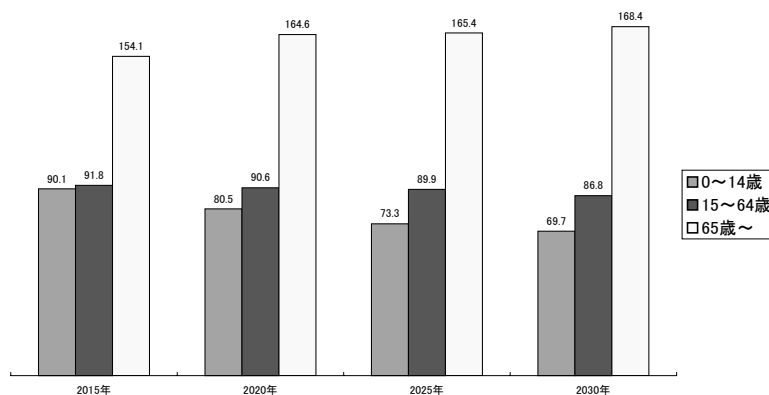


図7 武豊町 (グループ2)

出所：図1と同じ

【付表・図 第3グループ】

表6 第3グループ

		1995年	2000年	2005年	2020年	2030年
阿久比町	人口総数	23,890	24,028	24,577	24,513	23,513
	総人口指数	97.1	97.8	100.0	99.7	95.7
	年少人口割合 (%)	16.8	14.9	13.9	10.6	9.9
	生産年齢人口割合 (%)	70.5	68.9	66.3	58.6	57.7
	老年人口割合 (%)	12.7	16.2	19.8	30.7	32.4
	75歳以上人口割合 (%)	5.0	6.5	8.2	16.4	21.3
南知多町	人口総数	24,846	23,250	21,909	17,705	14,918
	総人口指数	113.4	106.1	100.0	80.8	68.1
	年少人口割合 (%)	16.3	14.1	12.2	8.4	7.7
	生産年齢人口割合 (%)	65.2	62.9	61.1	55.0	51.3
	老年人口割合 (%)	18.5	23.0	26.7	36.6	41.0
	75歳以上人口割合 (%)	7.0	9.1	12.5	19.9	25.4
美浜町	人口総数	26,076	26,083	26,294	25,172	23,826
	総人口指数	99.2	99.2	100.0	95.7	90.6
	年少人口割合 (%)	16.0	15.3	13.8	9.3	8.3
	生産年齢人口割合 (%)	70.4	68.3	67.6	64.1	62.3
	老年人口割合 (%)	13.6	16.4	18.6	26.6	29.3
	75歳以上人口割合 (%)	5.6	7.0	8.6	13.4	17.3

出所：資料1より筆者作成

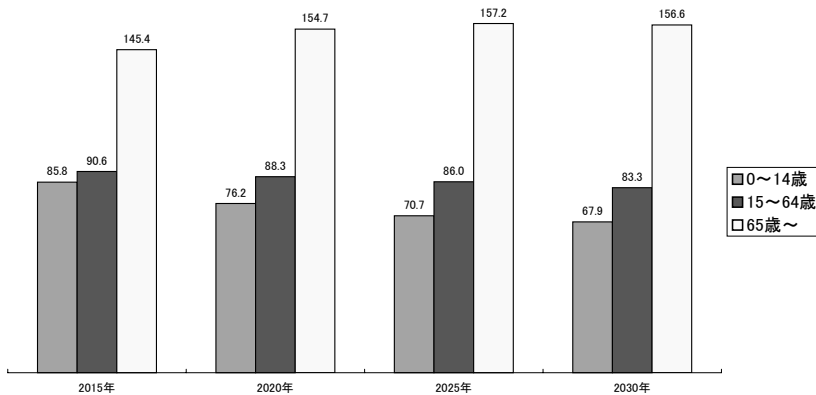


図8 阿久比町 (グループ3)

出所：図1と同じ

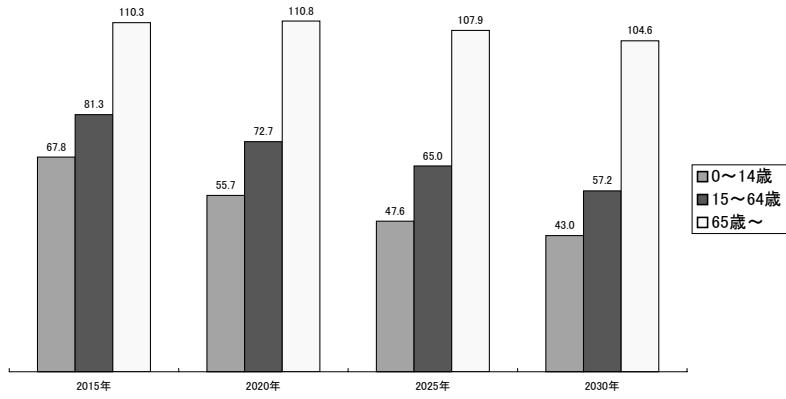


図9 南知多町 (グループ3)

出所：図1に同じ

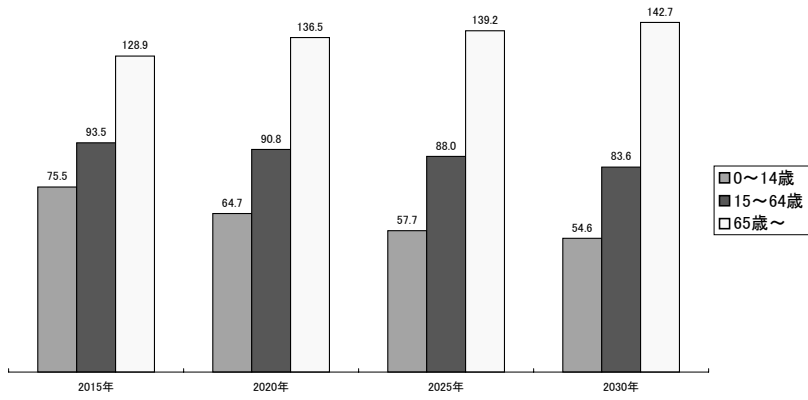


図10 美浜町 (グループ3)

出所：図1に同じ

表7 生産年齢人口増加率

	生産年齢人口増加率			2005年
	2005年	2020年	2030年	就業率 (就業者数 / 生産年齢人口)
半田市	100.0	99.0	95.6	0.744
常滑市	100.0	98.8	91.3	0.810
東海市	100.0	96.8	90.7	0.769
大府市	100.0	100.9	96.2	0.767
知多市	100.0	92.6	86.3	0.748
阿久比町	100.0	89.2	82.5	0.770
東浦町	100.0	100.8	95.3	0.750
南知多町	100.0	70.2	54.6	0.876
美浜町	100.0	89.1	80.2	0.749
武豊町	100.0	93.6	85.6	0.752

出所：資料1および筆者推計

表8 就業者数予測

	2005年	2020年	2030年	2005年	2020年	2030年	就業者 / 生産年齢人口 (05年)
	(実績)	(予測)	(予測)				
半田市	57,186	56,970	54,943	100.0	99.6	96.1	0.744
常滑市	26,295	25,764	24,429	100.0	98.0	92.9	0.810
東海市	55,017	52,012	50,845	100.0	94.5	92.4	0.769
大府市	42,926	41,991	42,073	100.0	97.8	98.0	0.767
知多市	42,807	38,765	37,315	100.0	90.6	87.2	0.748
阿久比町	12,537	11,059	10,445	100.0	88.2	83.3	0.770
東浦町	24,128	24,062	23,747	100.0	99.7	98.4	0.750
南知多町	11,728	8,530	6,704	100.0	72.7	57.2	0.876
美浜町	13,292	12,078	11,111	100.0	90.9	83.6	0.749
武豊町	21,152	19,179	18,386	100.0	90.7	86.9	0.752

出所：表7の就業率を用いて筆者試算